

# こんにちは 家畜保健衛生所です

平成30年8月



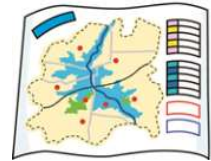
## 台風・大雨被害に備えましょう



近年、台風や大雨により、冠水や道路寸断など畜産経営に影響の出る被害が発生しています。災害発生リスクに備え、減災のための取り組みに努めましょう。

### 事前の対策

- ▶ 防災ハザードマップを確認し、どのような災害の危険があるか把握しておく。
- ▶ 人や家畜の避難先・避難経路を検討する。
- ▶ 災害時の緊急連絡先（役場・農協・家保など）を確認する。
- ▶ 浸水や停電に備え、発電機や排水ポンプを準備する。
- ▶ 飼料や燃料は、少なくとも1週間以上飼養できる量を在庫として持つように努める。
- ▶ 飲水についても貯留タンクやくみ上げポンプの準備に努める。



### 被害拡大防止のための対策

- ▶ 避難勧告が出された場合は、人命を守る行動を最優先する。
- ▶ 避難までに時間的余裕があれば、しばらく飼養管理が出来ない可能性を考えた対策を講じる。
- ▶ 機械の通電を再開する際に、漏電やショートに留意し、安全に気をつけて作業する。
- ▶ 道路の寸断等により飼料搬入が困難な状況が長期化すると想定される場合、家畜の生命維持を優先に、飼養管理を変更する。また、避難先候補地への家畜の移動も検討する。



災害による被害が発生した場合には、被害の規模や被害金額見込み等を家畜保健衛生所へご連絡下さい。  
※修復の前に、被害状況がわかる写真の撮影をお願いします。